

「大好き」だからこそ
やりたい事があるのです。

大好き札幌通信

2025年春号
市政だより

札幌市議会議員

中央区

中川 賢一

けんいち

雪対策に新しいアイデアや技術を積極的に取り 入れて目指す「雪に強いまちづくり」!



地下鉄南北線の走行路面を大規模改修へ

このところ地下鉄の車両や施設の不具合や破損事故などが頻発しており、ニュースなどの報道をご覧になった方も多いと思います。2024年度は11月末現在で既に7件の運行障害が起こっており、23年度の4件を既に大きく上回っております。

<2024年度の地下鉄における不具合事案>

発生日	障害種別	概要
4/7	施設障害	東豊線 福住駅 転てつ器のリレー転換不良が発生し、22分の遅延
4/22	施設障害	南北線 麻生駅 仮設していた部材との接触によるタイヤパンク
7/1	車両故障	東豊線 福住駅 車両不具合による10分以上の遅延
10/4	施設障害	南北線 自衛隊前駅 走行路面の亀裂発生
10/15	信号障害	東豊線 豊平公園駅 車両在線検知の異常発生 約19分の遅延
11/3	車両故障	東西線 南郷7丁目駅 ブレーキ不具合による正規停止位置超過
11/4	施設障害	南北線 さっぽろ駅 防災垂れ壁の一部落下

私はこのような状況が重大な事故を起こしかねないと感じ、昨年11月に秋元市長に対し早急な対応を求め、まずは地下鉄南北線の走行路面を改修することとなりました。

地下鉄南北線は開業以来50年余りが経ち設備の老朽化が進んできており、今後の安全運行のためには設備の大型修繕が急務だと判断。来年2025年度予算に関係経費が盛り込まれ、数年掛けて対応していくこととなりました。

その他にも、防災垂れ壁の補修や、駅施設建物の総点検などの事業が新年度予算に盛り込まれ、点検項目も見直した上で増やしていく方針です。

1972年の札幌オリンピックを契機に一気に整備が進んだ札幌市の主要インフラは、半世紀余りが経ち、地下鉄のみならず上下水道や道路、橋梁、建築物なども劣化が目立ってきています。中長期的な計画のもとしっかりと監視・管理・修繕していかなくてはならない状況ですので、これからも速やかな提言を心掛けていきます。



さっぽろ食育ウェルネス推進企画 「弁当の日」上映会を開催します

札幌市は令和5年に合計特殊出生率が0.96と1を下回り、全国最低水準の危機的な状況にあり、子育てに関する手立てを工夫していくことが急務となっています。

また、現代は複雑な価値観が交錯する時代。そんな時代だからこそ何が本当に大切か、未来を担う子どもたちにどう向き合っていくべきなのか。今一度しっかり考えていかなくてはならないと思います。

そんなことを考える機会として、制作されたのがこの映画「弁当の日」。子供の自律的な成長を後押しし、親や教師など周りの大人たちを変えていくきっかけを与えてくれる映画です。今般、この映画を作成した安武監督を札幌にお迎えして映画の上映会と監督の講演会を開催する運びとなりました。

是非たくさんの方にお越しいただき、この映画と安武監督自身のストーリーから、食育の枠を超え、ぜひ沢山のことを感じ取っていただけると嬉しいです。



◆開催概要◆

【日時】 3月17日(月)10時～12時30分
(開場9時30分)

【会場】 北海道新聞本社ビル1階
DO-BOX EAST

【料金】 無料

【定員】 100名

【主催】 さっぽろ食育ウェルネス推進企画
「弁当の日」上映実行委員会
実行委員長 中川 賢一

【申込方法】 以下のインターネットページからお申し込みください
<https://peatix.com/event/4291274/view>



中川賢一市政事務所

〒064-0920 札幌市中央区南20条西6丁目4-10フラッツ札幌1階 TEL.(011)520-0001 FAX.(011)520-8888
URL:daisuki-sapporo.net

中川賢一のプロフィール

●1967(昭和42年)1月9日札幌市生まれ ●緑丘小学校、伏見中学校、札幌南高校、東北大学経済学部経済学科卒業、シンガポール国立大学エクステンション・プロフェッショナル・ディプロマ・アジア・パシフィック・マーケティング修了 ●北海道拓殖銀行を経て、平成6年北海道庁入庁。道シンガポール事務所駐在員など、主に経済政策に従事。退職後、札幌国際大学非常勤講師、札幌商工会議所付属専門学校講師などを務める ●平成27年札幌市議会議員に初当選(現在3期目) ●天然記念物北海道協会会長、NPO法人コンパサーレ(障害者職業訓練・就業支援)理事、北海道農水産物事業者協会顧問、ビジネスコミュニケーション協会顧問、鴨々川を清流にする会顧問ほか公職多数



雪対策の新たな有力財源に？

札幌市が新たに宿泊税を導入！

札幌市は観光振興の新たな財源として「観光目的税」(宿泊税)の導入をすることが、昨年12月の令和6年札幌市議会第4回定例会において議決されました。

札幌を訪れる観光客の宿泊費に課税するもので、市民に原則課税負担を求めない有力な財源となります。令和8年春から開始予定です。

約15年前、北海道ではおそらく初めて「観光目的税」の導入に向けた具体的な提言を公式に行った私としては、ようやく積年の思いが前に進んだと感無量です。

今後は税収をいかに有効に使うかが重要な議論となりますが、私としては**雪対策事業に有効に使用することを提案したい**です。

宿泊税の仕組みとメリット

宿泊税は宿泊施設を利用した方の宿泊料に一定の課税をするもので、基本的に旅行者が負担します。そのため納税者のほとんどが旅行者であり、納税者の担税感が著しく低いことがこの税金の大きなメリットです。

近年、世界的に旅行者が激増しておりますが、旅行先を選ぶ際、宿泊料に多少の課税がなされているか否かなんて訪問先選びにほとんど影響を与えませんので、世界中の多くの都市で有力な収入源として宿泊税が導入されています。

観光客が増えると税収も増収 初年度税収見込み28億円

具体的な税額は、宿泊料金5万円未満の場合は200円、5万円以上の場合は500円を宿泊者から徴収する段階的定額制です。北海道も札幌市と同じく令和8年春から宿泊税を導入予定です。

市は初年度28億円の税収を想定していますが、ここ数年札幌を訪れる外国人観光客が順調に増加していると同時に、宿泊費も上昇傾向にあるので、今の状況であれば上振れすることも十分に期待できますし、宿泊税を財源に観光振興策を強化すれば旅行者が増え、更なる増収を見込めます。

ただ、本来は宿泊費に一定率を掛ける定率制が望ましく、先進諸外国も定率制が主流ですが、残念ながら日本は特有の事情により、税収面でも税の公平性の面でも劣っている定額制が主流です。

宿泊税収を雪対策財源に！

宿泊税は法定外目的税なので、税収の使途は観光関

【札幌市】		【北海道(参考)】	
宿泊料金	市税	道税※	市・道総額
5万円未満 (宿泊者数の99.8%)	200円	100円	300円
		200円	400円
5万円以上 (宿泊者数の0.2%)	500円	500円	1,000円

備考
宿泊料金
2万円未満
宿泊料金
2万円以上5万円未満
宿泊料金
2万円以上5万円未満

連の事業に限定されます。

ただ、観光というのは人の移動や来訪に関わる幅広い事業の総体として活性化されるものですので、交通や道路、人が来訪するビジネス目的の強化など、幅広い事業が対象となり得ます。

そのため私が特に声を大にして提案してきたのが、札幌市の最大の課題の一つである雪対策事業への活用です。



観光振興事業	観光関連事業
●観光 PR ●観光イベント等の開催 ●観光商品の開発 ●観光地の整備 ●宿泊事業者・交通事業者の支援	●交通環境の整備 (公共交通、シェアサイクル、電動キックボードなど) ●道路整備・管理・維持 →雪対策事業 ・主要道路等の除排雪 ・雪に強い道路インフラ (融雪機、ロードヒーティング、ICT・AI化) ●長期滞在者を想定したインフラ (学校・教育機関、企業誘致)

札幌の観光の一つの目玉が「冬季観光」。雪で旅行者の移動が滞ったり、滑って転んだりすることが極力ないように、交通や道路の整備を進めることは冬季観光地としての必要な投資です。

幹線道路や公共交通機関周辺、観光地周辺などの除排雪などは観光対策として必要な事業と言えますし、都心部のロードヒーティングや融雪機など、雪に強い道路インフラ整備も重要な冬季観光対策です。

さらに私はかねてより、ICTやAIを活用した除排雪の効率化を提案しています。ブログでも詳しく触れておりますので、ご関心のある方はこちらのQRコードからご覧ください。



せっかく取り入れる有望な税制度ですから、冬の国際観光都市として成熟させていくとともに、住んでいる私たち市民の生活をも同時に向上させていく視点を柔軟に持って将来への投資に有効に活用して行きたいものです。

